

## 新入会員の皆様へ

一般社団法人 全日本建設技術協会 会長

おおいし ひさかず  
大石 久和



新入会員の皆様、全日本建設技術協会（以下、全建）へご加入いただき、ありがとうございます。全建は全国の建設系公務員を主体とする約6万人の会員からなる団体で、会員の技術力向上・社会的地位の向上・連携交流の促進を目的に事業を進めています。今、皆様が手にしている月刊「建設」の発行、様々な建設系の行政課題をテーマに取り上げた「建設技術講習会」の開催、特色ある現場を見学する「実地研修会」の開催、技術図書の割引購入など、会員の技術力向上につながる事業などを実施しています。さらに地方協会が取り組む講習会や研修会、また会員相互の親睦・交流を深める様々な活動への助成も行っています。

昨年度は、コロナという疫病との戦いに終始した大変な年でした。また、残念なことに、この国が国民への現金給付や患者数の統計などで混乱してしまい、社会の各方面でネットワークとデジタルの環境の整備が他の先進国から、相当に劣後していることも明らかになってしまいました。年中行事になったかのような災害についても、無事ではありませんでした。秋の台風こそ逃れたものの、梅雨期の豪雨で球磨川が氾濫するなどの大災害もありました。脱ダムなどリアリズムが欠けた妄想をもてあそびたツケがあらわになってしまいました。遅きに失した観はまぬがれませんが、それでも川辺川ダムが動き始めることになったのは、将来世代への責任を果たす決意表明となりました。

このような状況のもとで、会員一人一人が技術力を向上させ、高い職務遂行能力や課題解決能力を習得するためには、会員の皆様が日常業務の中で様々な知恵を絞り、工夫を重ねるとともに、その努力や苦勞を一人だけのものとせず、会員共通の経験とすることが重要です。このため、全建では、会員が手にした技術やインフラの状況などの情報を会員同士の連携・交流によって世代・地域・機関を超えて伝承し、その情報は会員だけでなく広く国民にも発信していこうとしています。

公務員技術者として生きていこうとすると、公務員技術者とは何かという範疇で物事を考えてしまう人がいます。まずは人として深くなることで、広がり深い、幅広い人間になることが大事です。社会に何かあるとき、自分には関係ないと考えるのは正しくありません。すべての出来事、世の中の動いている森羅万象は何らかのかたちで私たちに関係があるのです。私は土木技術者なのだからそれは知らなくていいという感覚を最初から入れるなどということなのです。われわれ公務員技術者はまず仕事を企画する側です。若い人たちはあまり現場を経験できないという話をよく聞きますが、できるだけ多くの住民の方々などに接して現場感覚を身につけ、地域の暮らしがより安全、快適になるよう考えて、地域、社会のために役立つ存在になるよう全人格で取り組んでいただきたいと思います。